教材研究ノート№3-A-3

≪学習問題≫

ペンダントをもっています。5こずつ

2人の友だちにあげたら，のこりは20こ

になりました。

はじめ，ペンダントは何こありま

したか。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・数量の関係を線分図に表し，問題を解決することができる。

○既習とつなぐ見方・考え方

・2年で1段階の逆思考の問題を学習している。

・2年で，3要素2段階の順思考の問題を学習している。

○共同追究でのゆさぶり

・2段階の逆思考の問題に出会うのは，本単元が初めて。

○ゆさぶりに対応する経験

・絵や図，線分図で全体と部分の関係を表す学習をしている。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

****

②学習課題: 「5こずつ2人にあげた」を図に表して，はじめのペンダントの数を求め，求め方を説明しよう。

②見通し: 「5こずつ2人にあげた」をどう考えるか分からない。

　　→　図にかいたり，分けて考えたりすればできそうだ。

→

１　課題とまとめを一体のものとしてとらえるには

③個人追究: 数量関係を図に表し，ペンダントの数を求める。

④共同追究前半（解法の比較検討）

「どの求め方にも共通していることはなんだろう？」

→「あげたペンダントの数を求め，もどして計算している。」

④共同追究後半（思考を深める）

「“あげた”のだから，ひき算ではないのか？」

→「はじめの数を求めるには，あげたものをもどしてのこりとたせば求まる。」

　　「絵や図に表すと，たし算になることがわかりやすい。」

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・あげた数を求め，のこりとたせばはじめの数が求められる。

・絵や図，線分図にかいて考えれば，何算で求めればよいかがわかりやすい。

⑥定着･活用問題

おばさんが，みかんをおくってくれました。

6こずつ，3人のお友だちにあげたら，

のこりは22こになりました。みかんはい

くつあったのでしょう。

図をかいてかんがえましょう。

****

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・導入では，具体的にペンダントの流れを動作化させるなどして，場面把握を大切に扱いたい。

・絵や具体物や線分図を使って，操作したり，自分の言葉で説明したりする活動を大切にしたい。

・単元を通して，問題の条件に合った線分図をかき，問題文・線分図・式を対応させて考えることができるようにしたい。

【板書計画】